

教 育



総合文化施設（あかがねミュージアム）

教 育

1 教育基本方針

すべての市民が、健康で心豊かな人間性を自ら養い、個性を発揮できる教育の充実に努める。

- 1 誰もが学べる環境を整備し、生涯にわたる学習機会を提供する。
- 2 学びの成果を活かし、よりよい地域づくりを推進する。
- 3 家庭・学校・地域の連携の下、子どもたちの健全な育成を支える。
- 4 基本的な生活習慣や社会規範を身につける温かい家庭教育を進める。
- 5 開かれた特色ある学校づくりを推進し、「生きる力」・「確かな学力」を育む。
- 6 国際化、情報化、環境、防災、食育等現代的課題に対応する教育を進める。
- 7 子ども一人一人の教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実に努める。
- 8 お互いを尊重し認め合う人権・同和教育を推進する。
- 9 自然を守り育て、郷土を学び愛する教育を進める。
- 10 伝統文化を保存・継承するとともに、芸術文化の香るまちづくりを推進する。
- 11 スポーツの振興を図り、市民の健康増進、体力・競技力の向上に努める。

2 学 校 教 育

(1) 市内の幼稚園、小・中学校

幼稚園 12園のうち私立 1園休園中

区 分	学 校 数					教職員数 (人)	園児・児童・生徒数 (人)				
	総数	市立	県立	国立	私立		平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
幼 稚 園	12	2	—	—	10	121	1,349	1,384	1,423	1,431	1,382
小 学 校	17	17	—	—	—	533	6,860	6,696	6,519	6,435	6,417
中 学 校	12	12	—	—	—	287	3,560	3,539	3,461	3,473	3,365
計	41	31	—	—	10	941	11,769	11,619	11,403	11,339	11,164

注：学校数及び教職員数は平成27年5月1日現在、園児・児童・生徒数は各年度5月1日現在、学校基本調査による。

(2) 市立学校施設等一覧

ア 幼稚園

(27.5.1 現在)

区分	園児数		学級数	教員数	教室数		園舎 延面積	遊戯室 面積	校地面積			所有区分	
	定数	実数			普通	特別			運動場	その他	計	市有地	借地
王 子	人 280	人 104	人 4	人 6	人 5	人 —	m ² 1,237	m ² 185	m ² 1,008	m ² 1,130	m ² 2,138	m ² —	m ² 2,138
神 郷	人 200	人 61	人 2	人 4	人 3	人 —	m ² 965	m ² 144	m ² 1,037	m ² 1,705	m ² 2,742	m ² 2,742	m ² —
計	人 480	人 165	人 6	人 10	人 8	人 —	m ² 2,202	m ² 329	m ² 2,045	m ² 2,835	m ² 4,880	m ² 2,742	m ² 2,138

注：学校基本調査による。

イ 小学校

(27.5.1 現在)

区 分	児童数	学級数	教員数	職員数	教室数		校 舎 延面積	屋 内 運動場 面積	校 地 面 積			所 有 区 分	
					普通	特別			運動場	その他	計	市有地	借 地
新 居 浜	人 218	12	人 16	人 9	12	9	m ² 3,757	m ² 831	m ² 10,990	m ² 7,154	m ² 18,144	m ² 18,144	m ² —
新 宮 西	243	11	21	9	11	9	3,795	807	11,274	10,274	21,548	21,548	—
金 子	649	25	31	12	25	9	5,640	1,033	10,358	10,852	21,210	21,210	—
金 栄	346	14	19	9	14	11	3,616	919	14,565	7,001	21,566	13,278	8,288
高 津	706	26	38	4	26	21	6,706	1,196	9,664	13,325	22,989	22,989	—
浮 島	112	9	13	8	9	12	3,434	807	8,591	9,449	18,040	18,040	—
惣 開	302	14	21	9	14	12	4,088	807	8,010	12,235	20,245	—	20,245
若 宮	66	6	12	6	6	6	2,336	807	7,259	10,387	17,646	16,724	922
垣 生	285	14	21	9	14	8	2,778	807	7,646	4,884	12,530	12,530	—
神 郷	582	22	29	11	22	15	5,560	894	9,400	8,283	17,683	11,485	6,198
多 喜 浜	158	7	12	8	7	13	2,944	919	6,664	7,138	13,802	9,637	4,165
泉 川	505	18	27	5	18	22	6,181	1,023	12,800	10,197	22,997	10,396	12,601
船 木	362	14	21	10	14	15	3,975	807	9,811	9,034	18,845	18,038	807
うち(わかば分教室)	(1)												
中 萩	977	35	51	13	35	15	7,669	1,239	10,383	16,268	26,651	26,651	—
大 生 院	249	13	19	10	13	9	3,087	807	9,537	7,095	16,632	13,633	2,999
角 野	653	26	35	11	26	15	6,137	1,033	15,797	13,079	28,876	20,801	8,075
別 子	4	3	3	1	3	6	820	551	2,899	500	3,399	3,399	—
計	6,417	269	389	144	269	207	72,523	15,287	165,648	157,155	322,803	258,503	64,300

注：学校基本調査による。

ウ 中学校

(27.5.1 現在)

区 分	生徒数	学級数	教員数	職員数	教室数		校 舎 延面積	屋 内 運動場 面積	校 地 面 積			所 有 区 分	
					普通	特別			運動場	その他	計	市有地	借 地
東	人 415	14	人 29	人 3	14	14	m ² 4,533	m ² 1,388	m ² 10,200	m ² 6,596	m ² 16,796	m ² 15,509	m ² 1,287
西	271	11	23	3	11	14	4,830	816	13,504	11,456	24,960	24,960	—
南	458	15	28	3	15	13	4,731	981	12,699	7,811	20,510	20,510	—
北	233	9	20	3	9	14	4,005	1,138	15,880	9,628	25,508	23,846	1,662
泉 川	255	10	24	4	10	15	4,256	981	14,451	6,942	21,393	21,007	386
船 木	208	8	18	3	8	13	3,401	1,014	10,679	11,108	21,787	21,787	—
船木ひびき分校	5	2	7	1	2	10	1,036	428	6,171	1,681	7,852	—	7,852
中 萩	514	15	30	3	15	17	4,865	1,031	16,838	11,641	28,479	28,479	—
大 生 院	142	7	17	3	7	13	3,210	830	8,987	6,299	15,286	15,286	—
角 野	313	11	23	3	11	16	4,814	1,031	10,934	11,018	21,952	21,556	396
川 東	550	17	33	3	17	16	5,768	1,055	13,997	20,673	34,670	34,670	0
別 子	1	1	3	0	1	0	94	145	1,118	500	1,618	500	1,118
計	3,365	120	255	32	120	155	45,543	10,838	135,458	105,353	240,811	228,110	12,701

注：学校基本調査による。

(3) 奨学金等

ア 新居浜市入学準備金貸付制度

貸付条件 入学準備金貸付金は、学校教育法(昭和22年法律第26号)第50条及び第115条に定める高等学校及び高等専門学校に入学しようとする者の保護者で、入学準備金の調達が困難なものについて、次の各号に該当する者に貸し付ける。

- (1) 本市に住所を有し、引き続き2年以上居住している者
- (2) 高等学校等への入学が確実である者の保護者

基金の額 350万円

貸付金額 5万円

貸付期間 3年を限度とする。

- 返還方法
- (1) 無利子とする。
 - (2) 貸付金の償還は、定額割賦を原則とする。

貸し付けた月から起算して、5月据え置き、31月以内に月賦償還

貸付状況 (単位：千円)

区分 年度	高 等 学 校	
	人 員	貸 付 額
24	3	150
25	4	200
26	2	100

イ 新居浜市奨学資金貸付制度

貸付条件 奨学資金の貸付けを受ける者は、3年以上本市に在住する者の子弟であって、高等学校、高等専門学校、大学または専修学校(専門課程)に在学しその学資の支弁が困難であり次の各号に該当する者でなければならない。

- (1) 学業が優秀で性行の善良な者
- (2) 身体の健康な者
- (3) 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付若しくは貸与を受けていない者

基金の額 1億3,400万円

貸付金額 高等学校＝月8,000円、高等専門学校＝月1万円(1年～3年)・月1万8,000

円(4年～5年)、専修学校(専門課程)・大学(短大を含む)＝月2万6,000円

返還方法 卒業後満1年後から15年間以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦によって返還

※専修学校(専門課程)は、平成5年度から貸付

貸付状況 (単位：千円)

区分 年度	高等学校		高等専門学校		大学(専修、短大)		計	
	人員	貸付額	人員	貸付額	人員	貸付額	人員	貸付額
24	5	480	1	216	15	4,914	21	5,610
25	5	480	2	336	11	3,432	18	4,248
26	3	216	1	120	18	5,616	22	5,952

ウ 新居浜市青野記念奨学資金貸付制度

貸付け及び給付の条件 奨学資金の貸付け及び給付を受けることのできる者は、3年以上本市に在住する者の子弟であって、新たに大学(修業年限4年以上)へ入学した者で、その学資の支弁が困難であり、かつ、次の各号に該当する者とする。

- (1) 学業が優秀で性行の善良な者
- (2) 身体の健康な者
- (3) 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付若しくは貸与を受けていない者

基金の額 7,000万円

貸付・給付金額 月3万2,000円(うち貸付1万6,000円 給付1万6,000円)

貸付・給付期間 4年を限度とする。

返還方法 卒業後1年を経過した日の属する月から15年以内に無利子で月賦、半年賦又は年賦によって返還

貸付・給付状況 (単位：千円)

区分 年度	大 学		備 考
	人員	貸付額	
24	4	1,536	うち給付 768
25	4	1,536	うち給付 768
26	4	1,536	うち給付 768

注：平成5年度までの貸付・給付金額は月2万円(うち貸付1万円 給付1万円)

エ 新居浜市特別奨学資金貸付制度

貸付け及び給付の条件 奨学資金の貸付け及び給付を受けることのできる者は、3年以上本市に在住する者の子弟であって大学院（修士課程、博士課程）に在学する者又は海外の大学に在学する者で次の各号に該当する者とする。

- (1) 学業が優秀で中正妥当な性格で特に研究熱心な者
- (2) 留学生は、高等学校卒業者で30歳未満の者
- (3) 学資が乏しく修学困難な者
- (4) 身体の健康な者
- (5) 他の育英又は奨学等の趣旨による学資の給付若しくは貸与を受けていない者

貸付・給付金額 月3万円（うち貸付2万円 給付1万円）

貸付・給付期間 5年を限度とする。（ただし留学生・修士課程は2年）

返還方法 卒業後1年を経過した日の属する月から10年以内に無利子で半年賦又は年賦によって返還

貸付・給付状況 (単位：千円)

年度	区分		備 考
	大学院・海外留学 人員	貸付額	
24	2	660	うち給付 220
25	4	1,320	うち給付 440
26	3	1,080	うち給付 360

(4) 新居浜市寺尾音楽教育振興基金

故寺尾貞子氏の遺志を継がれた遺族の寄附金により学校音楽教育の振興を図ることを目的として、平成元年に設置した。

基金の運用から生ずる収益は学校音楽振興資金に充て、次の各号に掲げる事業を行う新居浜市小・中学校音楽教育振興会に補助する。

- (1) 学校音楽教育における教職員の資質向上のための研修事業
- (2) 特に、学校音楽教育発展に貢献し、その功績が顕著な者の表彰
- (3) その他新居浜市小・中学校音楽教育振興会が行う事業で、教育委員会が承認する事業

基金の額 1,000万円

平成26年度実績 10,000円

(5) 就学援助制度

学校教育法第19条の規定に基づき経済的理由によって就学困難と認められる学齢児童又は学齢生徒の保護者に対して必要な援助(学用品費、校外活動費、学校給食費等の支給)を行う。

要保護・準要保護児童生徒就学援助

(単位：千円)

年度	区分	対象者(人)	援助額
24		916	65,488
25		848	59,715
26		870	59,636

(6) 就園奨励補助

家庭の所得状況に応じて保護者の経済的負担の軽減と公・私立幼稚園間の保護者負担の格差是正のため、幼稚園に就園する満3歳児から5歳児までの保護者に対し助成し、入園料及び保育料を軽減している。

補助金交付実績

区分	年度	24	25	26
	対象園児(人)	公立	6	9
私立		901	906	990
補助金(千円)	公立	120	180	117
	私立	30,902	31,240	45,623

(7) 私学に対する補助

人間形成の基礎となる重要な時期における就学前教育を担っている私立幼稚園の運営に対し助成し、本市の就学前教育の充実を図っている。

平成26年度実績 9園 466万円

(8) 国際交流

国際交流を通して、その国の文化・経済・生活習慣・国民性等を理解し、友好親善の絆を結ぶとともに、国際的な視野の拡大を図ることを目的に、中・高校生を中心として、昭和61年度から実施し、平成19年度からは中学生のみを対象として実施している。

過去10年の実績は、次表のとおり。

実績

年度	区分	訪問国(都市)	名称	日程	訪問者
17		韓国(ソウル)	日韓栄光親善団'05	8/8~8/12	団長(教育委員長) 教師等6人、中高生45人
18		韓国(ソウル)	日韓新世代交流団'06	8/1~8/6	団長(中学校校長会長) 教師等6人、中高生41人
19		アメリカ(フランクリン)	Dream Chaser 2007 —笑顔は世界の共通語—	10/31~11/9	団長(学校教育課指導主幹) 教師2人、中学生20人
20		アメリカ(フランクリン)	Let's Make Friends 2008 —国境を越えた仲間づくり—	10/28~11/7	団長(学校教育課指導主幹) 教師2人、中学生20人
21			中 止		
22		アメリカ(フランクリン)	Friendship Link 2010 —世界はひとつ 友情の輪—	10/30~11/9	団長(学校教育課指導主幹) 教師等2人、中学生19人
23		アメリカ(フランクリン)	Imagine What We Can Do Together —みんな友達—	10/29~11/8	団長(教育長) 学校教育課指導主幹1人 教師1人、中学生19人
24		アメリカ(フランクリン)	The Bonds of Friendship Link the World —絆が世界を結ぶ—	10/27~11/6	学校教育課指導主幹1人 教師1人 中学生21人
25		アメリカ(フランクリン)	Friendships Without Borders —国境のない友情—	10/26~11/5	団長(教育委員) 学校教育課指導主幹1人 教師1人、中学生18人
26		アメリカ(フランクリン)	Smile Link connect the world 2014 —世界を繋ぐ ^{えがお} 愛顔の輪—	10/25~11/4	団長(教育委員) 学校教育課指導主幹1人 教師1人、中学生20人

(9) 学校保健

ア 体位測定表

(平成26年度)

学年別	区分	身長 (cm)		体重 (kg)		座高 (cm)		
		性別	男子	女子	男子	女子	男子	女子
幼稚園	4歳		104.4	102.9	17.2	16.6	58.5	57.8
	5歳		110.5	109.2	19.4	18.5	62.1	61.7
小学校	1年		116.4	115.6	21.5	21.1	64.8	64.5
	2年		121.9	121.1	23.9	23.3	68.6	67.1
	3年		127.5	126.9	27.0	26.4	69.9	69.7
	4年		133.0	132.8	30.4	29.9	72.2	72.3
	5年		138.9	140.1	34.6	34.6	74.7	75.5
	6年		144.6	146.0	37.9	39.2	77.1	78.5
中学校	1年		151.6	151.2	43.9	43.4	80.9	81.3
	2年		158.5	154.1	47.8	46.7	84.1	83.2
	3年		164.7	155.8	54.1	49.6	87.5	84.1

イ 視力検査成績 (平成26年度・単位：人)

区分	検査人員	1.0未満 0.7以上	0.7未満 0.3以上	0.3未満
幼稚園	183	44	21	1
小学校	6,423	695	734	523
中学校	3,259	309	420	398
計	9,865	1,048	1,175	922

ウ 歯科検診成績 (平成26年度・単位：人)

区分	検査人員	乳・永久歯		その他 歯疾患口腔 の疾病異常
		処置完了者	未処置の ある者	
幼稚園	183	7	57	0
小学校	6,391	1,818	2,225	301
中学校	3,379	1,334	725	441
計	9,953	3,159	3,007	742

エ 脊柱側弯症検診成績 (平成26年度・単位:人)

区 分	検 査 人 員	一次検診異常者数
小 学 校	1,109	36
中 学 校	1,116	52
計	2,225	88

注：検査対象は小学校5年生全員、中学校1年生全員である。
 検診はモアレ写真撮影による(一次検診)。

(10) 学校体育

主な行事 (平成26年度)

行 事 名	実施期間	参加人員(人)
中学校総合体育大会	6/3・4・7・8・9	2,000
小学校水泳記録会	7/23	510
小学校陸上記録会	10/21	400
中学校新人体育大会	9/30・10/1	1,800

イ 相談内容別相談件数

(平成26年度)

相談内容	不登校	進路	いじめ	非行	学業成績	異性問題	友人関係	生活態度	家庭問題	学校問題	その他	合計
相談件数	311	0	1	0	1	0	0	0	2	1	28	344

(11) 適応指導教室

不登校児童・生徒を対象にした適応指導教室を平成5年10月に設置し、市内小中学校の児童生徒を受け入れ、相談員が児童生徒の自主性を尊重しつつ自然な形で学校復帰に向け登校指導を行っている。平成26年度においては22人(男子6人、女子16人)を受け入れた。

ア 相談者数(延べ人数)(平成26年度)

区 分	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談者数	60	284	20	9	373

3 学 校 給 食

(1) 重点目標

子どもたちの健康を守るとともに、安全で喜ばれる給食づくり

(2) 重点事項

- ・食中毒予防対策の徹底、衛生管理の向上・安全保持
- ・学校給食設備・備品の整備充実
- ・適正な物資の調達
- ・地域農産物の活用
- ・食生活の改善と食文化の継承
- ・心のふれ合う楽しい学校給食の展開
- ・学校の教育活動全体を通しての実践的・総合的な食に関する指導
- ・学校給食施設の老朽化への具体的対応検討

(3) 主な行事等

- ・学校給食研修会
 平成26年7月25日(金) 於)女性総合センター
 [内容]・学校給食衛生管理推進指導者
 「学校給食衛生管理の改善について」
- ・新規給食献立調理実習試食会
 平成26年8月12日(火) 於)泉川公民館
- ・教育委員会調理場訪問衛生研修会
 平成26年11月27日(木) 於)金栄小学校
 12月2日(火) 於)浮島小学校
 12月11日(木) 於)多喜浜小学校
- ・学校給食会各専門部会研究発表会
 平成27年2月19日(木) 於)学校給食センター

(4) 施設状況

施設名	所在地	建設年月日	構造	面積 (㎡)	
				敷地面積	建築面積
学校給食センター	瀬戸町 12番38号	平成13年3月	鉄骨造2階建 外	4,597	(本体) 2,232 (その他) 84
高津共同調理場	宇高町二丁目 13番7号	昭和57年2月 (平成10年8月増築)	鉄筋コンクリート造陸屋根 平家建 外	—	(本体) 260 (その他) 12

注：小学校給食室省略

〔対象校〕 学校給食センター …… 西中・南中・北中・泉川中・船木中・中萩中・角野中・川東中・泉川小
愛媛県立新居浜特別支援学校 (米飯のみ)
高津共同調理場 …… 高津小学校・東中学校

(5) 給食の状況

① 実施状況

(平成26年度)

区分	完全給食		給食未実施		備考
小学校	17校	6,435人	—校	—人	大島小学校は廃校(平成25年4月～)
中学校	11	3,464	1	9	ひびき分校未実施
計	28	9,899	1	9	

※ 中学校は選択制

② 一食当たり単価

(単位：円)

区分		平成2年～	平成6年～	平成21年 9月～
完全給食	小学校	200	220	240
	中学校	220	260	280

注：牛乳(ミルク)給食は省略

4 社会教育

(1) 社会教育の目標

- 1 市民の自ら学ぶ意欲を喚起し、市民生活に即したさまざまな活動の拠点としての公民館の機能を再構築する。
- 2 地域ぐるみで子どもたちの居場所づくりに取り組むとともに、安全・安心の確保に努める。
- 3 社会教育関係団体をはじめ市民活動のネットワークを構築し、よりよい地域づくりを推進する。
- 4 地域主導型公民館の基盤を固めるため、支援体制の整備を図る。

(2) 社会教育の施策

ア 社会教育指導者研修、指導機能の充実

市民による市民のための生涯学習と行政の役割を明確にしなが、社会教育の施設・設備・職員

体制を整備し、関係機関・団体と連携した活動を進める。

イ 自主学習を進める公民館活動

- ・地域教育力向上プロジェクト推進事業
従来あった事業を統合し、①学ぶ②活かす③創るを三本柱に地域住民が自ら考え、学び、行うよりよい地域づくりのための活動を促進する。
- ・公民館報の発行
市内の公民館等で毎月発行、自治会長等を通じて配布している。
- ・各種情報提供

公民館が主催・共催する事業はもちろん、公民館利用サークルの活動など校区住民に対し、広く情報を提供している。

ウ 青少年教育

- ・放課後子ども教室推進事業
- ・こども夢未来基金

平成27年3月31日現在の積立金額
4,609,184円

エ 成人式

開催日 平成27年1月11日(日)
場 所 市民文化センター大ホール
出席者 約800人
該当者 平成6年4月2日～
平成7年4月1日生

オ 地域と学校の連携

地域全体で学校教育を支援するため、学校と地域との連携体制の強化を図り、登下校支援や読み聞かせなど各種の活動を行う学校支援地域本部を設置する。平成26年度は14校区で実施し、活動延べ54,827人となっている。

(3) 公民館活動

ア 公民館等施設一覧・利用状況

館名	所在地	設立年月日	敷地面積	建物延面積	新築年度	平成26年度利用延人員
			m ²	m ²		人
新居浜	新須賀町三丁目2番17号 ☎ 32-8312	昭58.4.1	1,586.00	535.50	昭57年度新築	38,218
口屋跡記念	西町6番2号 ☎ 32-8430	45.10.3	2,214.87	949.44	平3年度改築	35,614
地域交流センター(金子)	庄内町一丁目14番7号 ☎ 34-6320	平22.4.1	2,021.40	945.02	平21年度新築	64,732
金 栄	高木町6番25号 ☎ 33-3212	昭56.4.1	1,758.00	456.00	昭55年度新築	37,615
高 津	沢津町二丁目3番30号 ☎ 32-3320	33.4.1	2,220.77	987.25	平7年度改築	72,540
浮 島	八幡二丁目6番52号 ☎ 34-7617	57.4.1	1,480.48	456.00	昭56年度新築	22,808
惣 開	王子町1番3号 ☎ 33-1031	31.2.24	1,130.81	456.00	昭54年度新築	32,946
若 宮	新田町一丁目8番37号 ☎ 34-7612	57.4.1	1,124.96	456.00	昭56年度新築	25,724
垣 生	垣生二丁目12番26号 ☎ 45-0024	24.12.1	1,985.80	483.00	平元年度新築	31,048
神 郷	郷三丁目7番20号 ☎ 46-1181	33.4.1	1,803.58	624.00	昭60年度新築	71,577
多喜浜	多喜浜五丁目7番27号 ☎ 45-0014	31.12.27	1,245.00	545.63	昭61年度改築	24,243
大島交流センター	大島甲589番地 ☎ 45-1006	平27.4.1	4,671.32	942.02	平27年度移転	4,264
泉 川	瀬戸町12番34号 ☎ 41-6463	昭30.3.31	2,966.00	979.00	平15年度新築	63,386
中 萩	萩生740番地の1 ☎ 41-6735	22.11.1	2,024.02	984.00	平2年度改築	97,179
船 木	船木2579番地の1 ☎ 41-6003	24.9.14	1,917.99	456.00	昭54年度新築	57,982
大 生 院	大生院1063番地の1 ☎ 41-6604	25.9.28	4,324.28	795.90	平4年度改築	38,050
角 野	中筋町二丁目4番24号 ☎ 41-6224	23.11.3	2,963.24	864.00	昭54年度新築	71,072
別 子 山	別子山甲347番地の1 ☎ 64-2211	59.4.1	821.54	631.00	昭59年度新築	2,503
計						791,501

注：改築は、増築・大規模改修等とする。

イ 学級・講座・教室等の開設

(平成26年度・単位：人)

		新居浜	口屋跡	金子	金栄	高津	浮島	惣開	若宮	垣生	神郷
推進事業 エカク 業ト上	学ぶ（生涯学習事業、主に個人の学び、学習）	1,364	1,151	1,320	715	1,455	1,598	726	723	1,498	2,472
	活かす（地域での実践事業）	1,743	630	309	2,686	2,218	333	1,630	1,804	892	1,200
	創る（今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業）	564	877	365	999	767	212		498	459	1,133
放課後子ども教室				578	820	1,280			191		
計		3,671	2,658	2,572	5,220	5,720	2,143	2,356	3,216	2,849	4,805

		多喜浜	大島	泉川	中萩	船木	大生院	角野	別子山	合計
推進事業 エカク 業ト上	学ぶ（生涯学習事業、主に個人の学び、学習）	564	148	393	1,395	264	537	358		16,681
	活かす（地域での実践事業）	884	17	4,234	327	2,683	1,869	2,519	73	26,051
	創る（今後の公民館・地域の方向性を決定するための事業）	472	648	832	495	5,676	291	129	106	14,523
放課後子ども教室		371		844	689		470			5,243
計		2,291	813	6,303	2,906	8,623	3,167	3,006	179	62,498

(4) 学校体育施設開放

利用状況

(単位：人)

昭和46年度から小中学校の運動場、体育館（相当する施設を含む）を学校教育に支障のない範囲で一般市民スポーツの場に開放し、学校開放事業の効率化を図っている。

・開放校

小学校 17校

中学校 10校

・照明設備使用料

運動場 710円

体育館 200円

武道場 100円

学校名	区分 年度	運動場			体育館		
		24	25	26	24	25	26
新居浜小		9,127	7,509	7,428	13,456	11,186	10,998
宮西小		7,476	5,286	7,353	6,564	6,936	6,226
惣開小		3,197	3,889	4,274	6,849	7,011	7,169
若宮小		2,339	1,959	1,667	10,126	10,673	10,366
金子小		3,863	4,395	3,642	10,396	9,982	11,516
金栄小		2,563	3,541	3,131	12,087	12,011	12,778
高津小		7,575	6,308	6,525	14,797	15,299	18,206
浮島小		4,536	3,518	3,106	5,172	5,422	5,144
垣生小		5,827	4,739	5,017	5,740	7,560	7,106
神郷小		10,588	11,682	9,708	17,596	18,693	18,336
多喜浜小		3,253	1,644	2,660	7,975	6,695	6,656
泉川小		9,354	7,002	7,218	6,309	6,850	6,603
中萩小		10,853	10,660	11,288	24,262	21,725	22,200
船木小		9,660	7,405	5,601	14,229	14,255	14,262
大生院小		6,601	5,392	5,408	7,881	7,280	7,341
角野小		9,406	8,466	7,956	11,247	13,248	9,834
別子小		0	0	0	623	449	413
東中		1,330	1,735	1,780	11,631	10,829	8,867
西中		911	1,316	891	4,731	4,459	4,119
南中		1,637	1,722	1,291	10,975	11,223	10,153
北中		997	648	1,101	9,878	9,760	9,472
川東中		2,627	2,545	2,196	10,323	11,033	9,664
泉川中		0	0	0	13,191	12,843	12,960
中萩中		3,113	3,462	3,294	8,608	11,109	10,091
船木中		1,456	1,330	1,324	5,678	5,507	5,871
大生院中		832	1,103	1,419	4,317	4,012	3,814
角野中		782	937	625	9,092	10,873	9,594
計		119,903	108,193	105,903	263,733	266,923	259,759

(5) 生涯学習センター

所在地 繁本町8番65号

☎33-2991

設立年月日 平成3年4月1日

敷地面積 9,371.35㎡

建物延面積 440.00㎡

生涯学習大学

従来の生涯学習事業を統合し、市民一人ひとりが自主的に参加し、自らの意思で選択し受講できる生涯学習大学を開設した。市民スタッフとの協働による民主的な運営を行っている。

平成26年度受講者 24講座(つどい含) 延べ6,739人

生涯学習大学講座内容

(平成26年度)

講座名	対象	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
					男	女	
日本文学講座	市民	H26. 5.10～H26.11.22	8	16	22	60	481
松山大学公開講座	市民	H26. 5.17～H26.12. 9	8	16	27	23	243
新居浜高専市民講座	市民	H26. 5.24～H26.11.22	8	16	47	13	369
科学博物館講座	市民	H26. 5.14～H26.11.19	8	16	33	17	342
遍路学事始め	市民	H26. 5.27～H26.10.28	5	10	49	24	303
ふるさと学	市民	H26. 6.11～H26.11.12	4	8	23	11	107
住友の始まりと別子銅山	市民	H26. 6.27～H26.10.24	4	8	52	26	256
新居浜おとな塾	市民	H26.10. 3～H26.11.20	5	10	9	4	47
自然探訪	市民	H26. 5.13～H26.11. 4	5	10	21	22	176
地域参加で健康づくり	市民	H26. 5.26～H26.11. 8	17	34	5	16	702
十代が語ります!	市民	H26. 7.28～H26. 8.29	5	10	7	7	51
わくわくシニアライフ	市民	H26. 5.23～H26.11.28	8	16	16	34	295
新居浜環境講座	市民	H26. 5.17～H26.10.11	4	8	10	5	45
食が育てる心とからだ	市民	H26. 6.17～H26.11.18	4	8	5	20	93
四季の草木染	市民	H26. 5. 9～H26.11.21	5	10		20	91
身近な国際交流	市民	H26. 5.15～H26.11. 8	5	10	10	24	125
楽しくはじめる英会話	市民	H26. 5.15～H26. 7. 3	8	12	10	19	205
懐かしの心の唄講座	市民	H26. 6. 4～H26.10.22	8	16	28	149	1,156
健康アラカルト	市民	H26. 5.15～H26.11.13	7	14	7	41	259
悠遊ワーカー講座	市民	H26. 7. 7～H26. 9.11	2	5	5	1	12
にいほま若者塾	市民	H26. 8. 1～H26. 8. 8	4	8	9	26	140
出前講座・こども広場	市民	H26. 7. 2～H26. 7.29	3	6	9	16	74
雑談しま専科	市民	H26. 6. 4～H27. 3. 4	10	20	13	23	260
チケット受講生	市民				延べ(192)	延べ(181)	373
修業のつどい	市民	H27. 1.24	1	3			534
計			146	290	417	601	6,739

(6) 高齢者生きがい創造学園

おおむね60歳以上の者を対象にして、その生きがいづくりと健康・自立を目指す学習ニーズに応えられるよう講座を開設して、学習機会の提供、各種情報の収集・提供やボランティア活動・サークル活動の促進を目指している。

講座は、高齢者の健康・社会生活をテーマとしたものや趣味的なものを設けている。

平成26年度 17講座 延べ 4,198人

55サークル 延べ 32,642人

所在地 上原二丁目8番1号

☎44-4826

(旧桃山学院短期大学跡)

設立年月日 平成5年4月1日

敷地面積 18,684.23㎡(内グラウンド7,028㎡)

建物延面積 3,759.85㎡

生きがい創造学園講座内容

(平成26年度)

講座名	実施期間	回数	時間数	学級生数(人)		延べ参加者数(人)
				男	女	
1 高齢社会を賢く生きる	H26. 6. 3～H26. 11. 18	8	16	26	60	532
2 郷土を歩く	H26. 5. 15～H26. 11. 6	6	36	21	21	201
3 男の料理教室	H26. 5. 14～H27. 2. 18	8	24	25	0	166
4 趣味の料理教室	H26. 5. 9～H27. 2. 13	8	24	9	14	177
5 家庭菜園教室	H26. 5. 20～H26. 12. 16	8	16	16	15	221
6 川柳教室	H26. 5. 9～H27. 2. 13	10	20	8	7	123
7 生け花教室	H26. 5. 23～H27. 2. 27	8	16	1	18	116
8 書道教室	H26. 5. 7～H27. 2. 18	16	32	7	23	387
9 絵手紙教室	H26. 5. 13～H27. 3. 3	16	32	4	23	353
10 写真教室	H26. 5. 8～H27. 2. 18	9	18	11	12	155
11 陶芸教室	H26. 5. 14～H27. 2. 18	8	16	8	12	157
12 コーラス教室	H26. 5. 12～H27. 3. 9	16	32	8	30	468
13 四季の組み木教室	H26. 5. 8～H27. 2. 12	10	20	6	9	127
14 ピアノ教室	H26. 5. 14～H27. 3. 11	16	32	2	11	180
15 グラウンドゴルフ教室	H26. 5. 19～H26. 11. 10	10	20	15	20	302
16 ラージボール卓球教室	H26. 5. 12～H26. 12. 8	10	20	7	20	239
17 3B体操教室	H26. 5. 9～H27. 2. 13	10	20	7	33	294
計		177	394	181	328	4,198

(7) 放課後児童クラブ

就労等により昼間家庭に保護者がいない児童（小学校1年～4年）を対象に、その児童の健全育成を図るため、放課後児童クラブを開設している。（4年は長期休業のみの受け入れ）

実施場所 24カ所
児童クラブ一覧

	クラブ名	設置場所
1	たねっこクラブ1	高津小学校
2	たねっこクラブ2	〃
3	ひかりクラブ1	中萩小学校
4	ひかりクラブ2	〃
5	なかよしクラブ	新居浜小学校
6	たんぼぼクラブ1	金栄小学校
7	たんぼぼクラブ2	〃
8	こぼとクラブ1	角野小学校
9	こぼとクラブ2	〃
10	うずいクラブ	大生院小学校
11	かぶとクラブ	船木小学校
12	あひるクラブ1	神郷小学校
13	あひるクラブ2	〃
14	すみれクラブ	宮西小学校
15	ひまわりクラブ	垣生小学校
16	のぞみクラブ	惣開小学校
17	あじさいクラブ	多喜浜小学校
18	さくらクラブ1	泉川小学校
19	さくらクラブ2	〃
20	こねこクラブ	若宮小学校
21	かがやきクラブ1	金子小学校
22	かがやきクラブ2	〃
23	きりんクラブ	上部児童センター
24	ぴかっこクラブ	川東児童センター

(8) 施設設置・運営

別子ハイツ自然学習館

ア 施設の概要

設置主体 新居浜市教育委員会
所在地 新居浜市立川町1番地1
☎41-0443
敷地面積 3,207㎡
構造 鉄筋コンクリート造2階建
延床面積 566.50㎡
竣工年月 昭和49年3月
平成2年3月（増改築）

イ 使用料

会議室使用料金表

(単位：円)

室名	使用時間	9時～12時	12時～17時	17時～21時	9時～17時	12時～21時	全日
	第1和室	450	800	900	1,100	1,400	1,600
第2和室	300	500	550	700	900	1,000	
第1洋室	600	1,000	1,100	1,400	1,800	2,000	
第2洋室	400	650	750	950	1,200	1,300	

- 摘要 1 冷暖房を使用するときには、料金表に定める額の5割加算
2 会議室は、宿泊用に使用するため、使用時間を17時までに制限することがある
3 5日を超えて引き続き使用することはできない

食事・宿泊料金

(単位：円)

区分	食 事			宿泊料	合 計
	朝	昼	夕		
大人	350	400	600	1,000	2,350
高校生	350	400	600	700	2,050
小中学生	350	400	600	500	1,850

- 摘要 1 宿泊時間は17時から翌日9時まで
2 冷暖房を使用するときは1人1泊につき50円加算
3 宿泊は5人以上の団体から使用可
4 5日を超えて引き続き使用することはできない

ウ 利用状況

会議室及び宿泊

施設	利用区分	年度	申請件数	人数
別子ハイツ	会議室	24	42	986
		25	29	665
		26	27	466
	宿泊	24	44	1,156
		25	27	865
		26	27	823
	計	24	86	2,142
		25	56	1,530
		26	54	1,289

5 青少年センター

所在地 繁本町8番65号

☎ 33-4152

設置年月日 昭和39年7月16日

青少年の健全育成と非行防止に係る活動の充実を総合的かつ計画的に推進する実践的拠点である。

(1) 重点目標

- ・青少年健全育成の推進
- ・青少年相談活動の推進
- ・街頭補導の充実
- ・社会環境浄化推進業務の充実
- ・情報収集と啓発の充実
- ・関係機関、関係団体、学校等との連携強化

(2) 事業実績

- ・青少年の非行・被害防止全国強調月間 7月
啓發文書（市政だより）
- ・子ども・若者育成支援強調月間 11月
啓發文書（市政だより）
- ・街頭補導の充実
- ・青少年善行表彰 2月

(3) 地区別補導委員の状況 (27.4.1 現在・単位：人)

地区別	補導委員数		
	男	女	計
川西地区	37	24	61
川東地区	34	20	54
上部地区	47	28	75
計	118	72	190

(4) 補導状況

ア 実施状況 (平成26年度・単位：人)

補導回数	従事補導委員延人数	補導した少年延人数
611	2,825	200

イ 行為別内訳 (指導・声かけ)

(平成26年度・単位：人)

区分	児童・生徒	その他	計
飲 酒			
喫 煙	7	1	8
怠 学 ・ 怠 業			
盛 り 場 徘徊			
夜 遊 び			
暴 走 行 為			
ゲームセンター	20		20
無灯火・重乗等	37		37
声かけ・帰宅指導等	116	10	126
そ の 他	9		9
計	189	11	200

(5) 青少年相談の状況 (平成26年度)

項目	来所相談	電話相談	訪問相談	合計
相談件数	2	16	0	18

相談対象者

学 識	小学生	中学生	高校生	その他	合計
相談件数	2	4	10	2	18

相談内容

相談内容	ぐ犯・不良行為	触刑 れ罰 る法 行令 為に	そ の 他	合 計
相談件数	1	0	17	18

6 体 育 文 化

(1) 社会体育事業

いつでも どこでも 誰でもスポーツを楽しむことができるまちづくりを目指している。

本年度の目標

- ・組織の充実と指導体制の確立
- ・指導者養成と指導力の向上
- ・施設整備の充実
- ・体育、スポーツの企画推進

主な行事（社会体育） (平成26年度)

行 事 名	実 施 期 間	参加人員 (人)
〔社会体育〕		
市民歩け歩け大会	4/6	120
市民軽スポーツ大会		
スマイルボウリング・ シャフルボード大会	6/29	129
ターゲットバードゴルフ大会	7/6	24
カローリング大会	7/20	49
ペタンク大会	9/7	23
市民体育祭	9/18～11/9	5,259
少年スポーツ指導者研修会	4/8、6/5、7/1、7/3、7/15	537
体力づくり指導者講習会	4/23、5/23、6/24、7/2、 9/17、10/23	308
少年スポーツ大会	7/20～10/19	846
近県ソフトテニス大会	4/27	400
全国少年剣道大会	5/11	3,000
国領サッカーフェスティバル	7/12・13	388
駅伝競走大会	11/3	41チーム
近県中学生ソフトテニス大会	3/8・9	300

(2) 体育施設

ア 市民体育館

所 在 地

東雲町一丁目1番25号

☎ 34-1888

敷 地 面 積

4,863㎡

構 造

鉄骨鉄筋コンクリート造3階建

延 床 面 積

6,163㎡

総 事 業 費

5億7,520万円

完 成

昭和52年7月31日

1階トレーニング室

315㎡ 昭和54年3月24日完成
(器具 35種)

1階体育室

520㎡ 昭和56年11月18日完成
(卓球台 10台)

2階競技場

1,763㎡

(バレーコート3面、バスケットコート2面、テニスコート3面、バドミントンコート12面、ハンドボールコート1面、卓球20台、体操全種目)

3階観覧席

844席 (固定席)

市民体育館使用(利用)料

次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額。(10円未満は切り捨て)

区 分		使用(利用)時間		午前 (9時～12時)	午後 (13時～17時)	夜間 (18時～22時)	全日 (9時～22時)		
競 技 場	全 面	アマチュアスポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	1,000 円	1,500 円	2,000 円	4,000 円
				一般	体育室	500	700	1,000	2,000
		入場料を徴収する場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	2,000	3,000	4,000	8,000	
			一般	体育室	1,000	1,500	2,000	4,000	
	使 用	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	入場料を徴収しない場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	3,000	4,500	6,000	12,000
				一般	体育室	1,500	2,200	3,000	6,000
		入場料を徴収する場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	6,000	9,000	12,000	24,000	
			一般	体育室	3,000	4,500	6,000	12,000	
	体 育 室	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	入場料を徴収しない場合	競技場	20,000	30,000	40,000	80,000	
				体育室	10,000	15,000	20,000	40,000	
		入場料を徴収する場合 又は営業目的の場合	競技場	40,000	60,000	80,000	160,000		
			体育室	20,000	30,000	40,000	80,000		
室	部分 使用 (利用)	個人 利用 の場合	競技場及び体育室の2分の1未満の部分を使用する場合		全面使用料の2分の1に相当する額				
			普通利用の場合	高校生及び一般	100円	100円	100円		
				小学生及び中学生	50	50	50		
			回数利用の場合	高校生及び一般	11枚綴 1,000円				
小学生及び中学生	11枚綴 500円								
ト レ ー ニ ン グ 室	高校生及び一般			100円	100円	100円			
	小学生及び中学生			50円	50円	50円			
	定期利用の場合(高校生及び一般に限る。) 1カ月				1,000円				

器具使用料

区 分	数量	区 分	入場料等を徴収しない場合	入場料等を徴収する場合
バスケット用具 (ボールを除く)	1組	午前、午後、 夜間各1回 につき	100円	200円
バレーボール用具 (ボールを除く)	"	"	100	200
バドミントン用具 (ラケット・シャトル コックを除く)	"	"	100	200
テニス用具 (ラケット・ボール を除く)	"	"	100	200
卓球用具 (ラケット・ボール を除く)	"	"	100	200
体操用具	1種目	"	100	200
電光掲示板	1台	"	500	1,000
放送設備	一式	"	1,000	2,000
フローシート	1枚	"	50	100

イ 山根総合体育館

所在地	角野新田町三丁目14番1号 ☎43-2905
敷地面積	5,358㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造2階建 屋根部分鉄骨造銅板葺き
延床面積	3,252㎡
建設事業費	4億9,000万円
完成	昭和62年3月10日
1階競技場	1,326㎡ (バレーコート2面、バスケットコート2面、バドミントンコート8面)
1階トレーニング室	124.90㎡
2階競技場	1,073.4㎡ (卓球コーナー3台、柔剣道場393.95㎡、ジョギングコース170m)

利用状況 (平成26年度・単位：人)

区 分	団 体	個 人
バレーボール	5,973	
卓球	5,032	17,062
バドミントン	2,883	18,416
テニス	388	
バスケットボール	2,900	
トレーニング室		17,177
体操		
その他	24,732	
計	41,908	52,655

合計利用日数 343日
 合計利用人数 94,563人
 利用日1日平均 276人

山根総合体育館使用(利用)料

次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額。(10円未満は切り捨て)

区 分				使用(利用)時間		午前 (9時～12時)	午後 (13時～17時)	夜間 (18時～22時)	全日 (9時～22時)
競 技 場 及 び 柔 剣 道	全 面 使 用	アマチュアスポーツに使用する場合	入場料を徴収しない場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	800 ^円	1,200 ^円	1,500 ^円	3,000 ^円
				一般	競技場	1,500	2,500	3,000	6,000
			学校(学校教育法第1条に定める学校)	柔剣道場	400	600	800	1,500	
			一般	柔剣道場	800	1,200	1,500	3,000	
		入場料を徴収する場合	学校(学校教育法第1条に定める学校)	競技場	2,500	3,500	5,000	10,000	
			一般	競技場	5,000	7,000	10,000	20,000	
			学校(学校教育法第1条に定める学校)	柔剣道場	1,200	1,500	2,500	5,000	
			一般	柔剣道場	2,500	3,500	5,000	10,000	
	部分使用(利用)	アマチュアスポーツ以外に使用する場合	入場料を徴収しない場合	競技場	15,000	25,000	30,000	60,000	
				柔剣道場	8,000	12,000	15,000	30,000	
			入場料を徴収する場合	競技場	30,000	50,000	60,000	130,000	
				柔剣道場	15,000	25,000	30,000	60,000	
		スポーツ以外に使用する場合	入場料を徴収しない場合	競技場	15,000	25,000	30,000	60,000	
				柔剣道場	8,000	12,000	15,000	30,000	
			入場料を徴収する場合	競技場	30,000	50,000	60,000	130,000	
				柔剣道場	15,000	25,000	30,000	60,000	
個人利用の場合	普通利用の場合	高校生及び一般	全面使用料の2分の1に相当する額						
		小学生及び中学生	100円	100円	100円				
	回数利用の場合	高校生及び一般	50	50	50				
		小学生及び中学生	11枚綴 1,000円						
トレーニング室	高校生及び一般			11枚綴 500円					
	小学生及び中学生								
	定期利用の場合(高校生及び一般に限る。) 1カ月				1,000円				

器具使用料

市民体育館の器具使用料と同じ

利用状況 (平成26年度・単位：人)

区 分	団 体	個 人
バレーボール	2,631	
卓球	238	11,521
バドミントン	1,713	12,835
トレーニング		2,326
バスケットボール	10,303	
剣道	1,285	
拳 武 道	1,825	
そ の 他	11,087	
計	29,082	26,682

利用状況

(平成26年度・単位：人)

区 分	東 雲 市民プール	山根公園 屋内プール	別 子 山 市民プール
使 用 日 数	71日	319日	46日
使 用 日 1日平均利用者数	521	87	4
大 人 (高校生以上)	13,292	21,700	170
小 人	23,682	6,196	
利 用 者 計	36,974	27,896	170

合計利用日数 343日
 合計利用人数 55,764人
 利用日1日平均 163人

ウ 市民プール

名称 区分	東雲市民プール	山根公園屋内プール	別子山市民プール
所在地	東雲町一丁目1番13号 ☎ 32-3595	角野新田町三丁目14番2号 ☎ 43-1411	別子山甲335番地の1 ☎ 64-2305
敷地面積	10,744㎡	7,400㎡	1,430㎡
構造	鉄筋コンクリート造	(管理棟) 鉄筋コンクリート造2階建 (プール棟) 鉄骨造メタアクリル板葺き	鉄筋コンクリート一部樹脂造
建設事業費	1億4,000万円	5億円	3,600万円
完 成	昭和47年5月31日	昭和63年9月30日	昭和57年3月25日
プール施設	(寸法) (水深平均) 流水プール 7m×170m 1.0m 子供プール 変 形 0.4m スライダープール 20m×9m 0.7m 50mプール (公認) (9コース) 50m×20m 最深1.6m 最浅1.2m	(寸法) (水深平均) 25mプール(6コース) 25m×13m 1.1m 幼児プール 20m×3~4m 0.5m	(寸法) 25m×8m (4コース)

プール使用料

区 分		種 別		使 用 料			
個	東雲市民プール	普通券	大人 (高校生以上)	1人2時間まで60円 2時間を超える1時間ごとに30円増			
			小人 (中学生以下)	1人2時間まで10円 2時間を超える1時間ごとに20円増			
		ロッカー施設使用		1ボックス1回10円			
人	山根公園屋内プール	普通券	大人 (高校生以上)	1人2時間まで420円 2時間を超える1時間ごとに210円増			
			小人 (中学生以下)	1人2時間まで210円 2時間を超える1時間ごとに100円増			
	共通	回数券		普通券11枚綴として10枚分の料金			
団 体		30人以上		普通料金の1割引			
		50人以上		普通料金の2割引			
		100人以上		普通料金の3割引			
占	東雲市民プール	区 分		9時30分～13時	13時～17時	17時～20時	
		50メートルプール	平日	2,100円	4,200円	4,200円	
			日曜・祝日	3,150	5,250	5,250	
		50メートルプール	入場料を徴収する場合	本表に定める料金の倍額の範囲内で教育委員会が別に定める額			
			許可時間を超える場合	1時間を超えるごとに平日 730円 日曜、祝日 1,050円			
		用	山根公園屋内プール	区 分		10時～13時	13時～17時
25メートルプール	平日			12,600円	25,200円	25,200円	
	日曜・祝日			18,900	31,500	31,500	
25メートルプール	入場料等を徴収する場合			本表に定める料金の倍額の範囲内で教育委員会が別に定める額			
	許可時間を超える場合			1時間を超えるごとに平日 4,200円 日曜、祝日 6,300円			
目的外使用				使用1日		本表に定める使用料を基準として教育委員会が別に定める額	

※ 別子山市民プールの使用料は無料とする。

※ 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている方が手帳等を提示して山根公園屋内プールを使用する場合半額（2時間までの使用に限る。）

※ 市内在住の60歳以上の方が年齢を証する書類を提示して、山根公園屋内プールを使用する場合半額（2時間までの使用に限る。）

工 市営野球場

所在地 新須賀町三丁目2番54号

☎34-0518

敷地面積 1万5,269㎡ 両翼 91m
中堅 118m

収容人員 本部スタンド 2,220人
内野スタンド 3,537人
外野スタンド 2,743人
計 8,500人

完成 昭和60年6月30日

利用者数 19,234人（平成26年度）

使用料 次の各表により算定した額に
100分の105を乗じて得た額。
（10円未満は切り捨て）

野球場使用料

区分	使用時間	職業	一般	学生	器具使用料
入場料を徴収する場合	全日	60,000円	15,000円	7,500円	拡声装置
入場料を徴収しない場合	全日	11,000	5,000	2,500	全日 1,900円
	午前	5,000	2,000	1,000	午前 1,000円
	午後	6,000	3,000	1,500	午後 1,300円
練習に使用の場合	全日	7,500	2,000	1,000	スコアボード 1試合 400円
	午前	3,000	1,000	500	
	午後	4,500	1,500	800	電源 1回 200円
	2時間以内	-	500	250	

夜間照明使用料

使用時間	一般	学生
1時間ごと	2,000円	1,000円

オ 市民テニスコート

所在地 庄内町二丁目地先及び南小松原町地先

敷地面積 1万9,605㎡
コート数 クレーコート9面・全天候型ウレタンコート4面・全天候型人工芝コート6面

完成 昭和57年4月1日及び平成24年10月1日

利用者数 51,454人（平成26年度）

使用料

区分	使用時間	一般	学生
ハードコート・クレーコート 1面につき	1日	210 ^円	100 ^円
	午前	100	50
	午後	150	80
	2時間以内	60	30
人工芝コート 1面につき	1時間まで	260	130
	2時間まで	520	270
	1時間増すごとに	260	130

カ 山根公園テニスコート

所在地 角野新田町三丁目12番

敷地面積 5,117㎡

コート数 全天候型人工芝コート 6面
練習コート 3面（壁打）

完成 平成4年3月31日

利用者数 39,274人（平成26年度）

管理棟

所在地 角野新田町三丁目12番

☎43-2151

構造 鉄筋コンクリート造平家建

建物面積 317㎡

室構成 事務室、更衣室、シャワー室、トイレ

完成 平成4年3月

使用料

区分	使用単位	利用者別	テニスコート（一面）	練習コート（一人）	摘要
照明施設を使用しない場合	1時間まで	一般	260	100	テニスコート利用者については、使用時間内に限り、練習コートの使用料を原則として無料とする。
		学生	130	50	
	2時間まで	一般	520	210	
		学生	270	100	
	1時間増すごとに	一般	260	100	
		学生	130	50	
照明施設を使用する場合	1時間まで	一般	570	210	
		学生	450	150	
	2時間まで	一般	1,150	420	
		学生	900	310	
	1時間増すごとに	一般	570	210	
		学生	450	150	

備考：1時間以内の端数が生じた場合は、1時間とみなす

キ 武徳殿・重量挙練習場・弓道場

区分	種別	武徳殿	重量挙練習場	弓道場
所在地		徳常町4番6号	徳常町4番6号	徳常町4番15号
敷地面積 (㎡)		2,362	297	546
構造		木造平家建	軽量鉄骨造平家建	木造平家建
建物面積 (㎡)		584	228	射場 72.962 的場 29.540
完成		昭和14年10月	昭和61年2月	平成5年3月
使用料		無料	無料	無料
平成26年度の利用者数(人)		27,900	9,650	4,580

ク 山根市民グラウンド

昭和45年から、上部地区のスポーツの中心として、ソフトボール、野球、サッカー等に活用されている。

所在地 角野新田町三丁目2822番地の9
敷地面積 1万3,403㎡
利用者数 103,671人(平成26年度)
使用料 夜間照明使用料
全面使用 1,420円
片面使用 710円

使用料等

(単位：円)

区分	1日	1泊2日	1日増すごとの追加額
小・中学生	310	630	310
高校生以上	520	1,050	520

備考 (1) 小中学生を引率する教職員の使用料は、小中学生と同額とする。
(2) 使用料には、食事に要する費用及び野外活動に必要な備品、燃料、消耗品等の費用を含まない。

ケ 別子山市民グラウンド

所在地 別子山乙304番地の8
敷地面積 1,470㎡
使用料 無料

休所日 12月1日から翌年2月末日まで
月曜日(国民の祝日が月曜日にあたる時は、その翌日)

コ 銅山の里自然の家

設置趣旨 別子銅山の歴史を背景にした自然環境の中で交流、学習活動を通して心豊かな人づくりを図る。

所在地 立川町654番地の3
☎ 32-1300
敷地面積 17,050㎡
構造 木造コロンアル葺2階建外
延床面積 1,446㎡
建設事業費 3億6,151万2,000円
完成 平成4年3月30日
建物構成 研修棟(431.5㎡)
研修室、ロビー、管理人室、厨房
宿泊棟(504.0㎡)
72㎡×7棟(140人収容)
各棟20人収容 2段ベット、バス、水洗トイレ、飯盒炊飯施設
集会所棟(449.9㎡)
研修室兼室内運動場、和室、バス、水洗トイレ、倉庫

利用状況

(単位：人)

年度	利用者数(延人数)
22	2,876
23	3,089
24	1,431
25	2,232
26	1,878

サ 市営サッカー場(グリーンフィールド新居浜)
平成11年8月にオープンし、サッカーを主とするスポーツ振興を図っている。

所在地 観音原町乙109番地
☎ 66-2522
グラウンド数 2面(第1・第2)
芝面積 22,220㎡(125m×178m)
グラウンド面積 7,140㎡(105m×68m)
東西観覧席 1,000席
利用者数 31,661人(平成26年度)
施設概要 管理棟、倉庫、公衆トイレ、駐車場、駐輪場ほか

サッカー場使用料（1面当たり）

次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額（10円未満切り捨て）

区 分	使用時間		職業	一般	高校生以下 (高専生及び専修 学校生を含む)
	全日	(9時～17時)			
入場料を徴収する場合	全日	(9時～17時)	144,000円	48,000円	24,000円
入場料を徴収しない場合	全日	(9時～17時)	48,000	16,000	8,000
	半日	(9時～13時) 又は(13時～17時)	24,000	8,000	4,000
		上記区分以外1時間当たり	6,000	2,000	1,000

1. 1面の2分の1以内で部分使用するときは、2分の1とする。
2. 全面(2面)使用するときは、2倍とする。
3. 1時間以内の端数が生じたときは、1時間とみなす。

シ 多喜浜体育館

中小企業に雇用される勤労者の福祉の増進と雇用の安定を図るため、雇用促進事業団（現 雇用・能力開発機構）と市の共有建築物として昭和59年3月20日に竣工し、昭和59年4月1日に設置。平成15年4月1日、雇用・能力開発機構からの譲渡により体育施設の一元化を図るとともに名称を「新居浜市多喜浜体育館」に改める。

所在地 多喜浜四丁目3番7号

☎46-2466

敷地面積 1,953.84㎡
 構造 鉄筋コンクリート造一部2階建
 建物面積 1,179.45㎡
 建設事業費 1億3,460万円（うち雇用促進事業団出資金 8,960万円）

利用状況 (平成26年度・単位：人)

区 分	団 体	個 人
バレーボール	7,615	
卓球		1,987
バドミントン	1,506	
バスケットボール	1,349	
新体操	2,179	
その他	3,230	
計	15,879	1,987

合計利用日数 344日
 合計利用人数 17,866人
 利用日1日平均 52人

多喜浜体育館使用(利用)料

次の表により算定した額に、100分の105を乗じて得た額（10円未満切り捨て）

区 分	使用(利用)時間		午前 (9時～12時)	午後 (13時～17時)	夜間 (18時～22時)	全日 (9時～22時)
	全面使用	競技場		500円	500円	700円
部分使用 (利用)	競技場の2分の1未満の部分を使用する場合		全面使用の2分の1に相当する額			
	個人利用の場合	高校生及び一般	100円	100円	100円	
		小学生及び中学生	50円	50円	50円	
	回数利用の場合	高校生及び一般	11枚綴 1,000円			
小学生及び中学生		11枚綴 500円				

ス 体育施設建設基金

平成27年3月31日現在の積立金額 692,734,125円

(3) 芸術文化事業

地域の芸術文化の振興とすそ野の拡大を課題とし、市民の自主的な芸能・文化活動の育成・促進を図る。

- 創作や表現の機会拡大
- 文化グループ・サークルの助成
- 伝統芸能の発掘・伝承
- 芸術鑑賞の機会の拡大

文化遺産に対する正しい理解と認識を深め、その保存と活用の促進を図る。

- 文化財に対する理解と認識を深める。
- 文化財の愛護思想普及のための教育
- 文化財の調査研究記録を図る。

主な行事

ア 芸術文化活動の奨励

- ・ 第47回にはま春の市民文化祭
平成26年4月7日～4月25日
市民文化センター大ホール
中ホール、郷土美術館
美術の部入場者 2,606人 出品数 561点
芸能の部入場者 2,298人 出演者 656人
- ・ 芸術文化出前講座
市内小中学生に対して地元ゆかりの演奏家等がコンサート、実技指導を実施
実施校 13校

・ 学校出前コンサート事業

市内の小中学生に学校施設で優れた芸術に触れる機会を提供

10月29日(水) 新居浜小学校・角野中学校
10月31日(金) 西中学校

・ 第64回新居浜市美術展覧会

平成26年10月25日～11月6日
郷土美術館

入場者数 3,417人 出品数 458点

・ 平成26年度こどもふるさと写生大会

平成26年5月25日(日)

一宮神社 38人

瑞応寺 18人

広瀬歴史記念館 25人

・ 作品展

平成26年5月31日～6月8日

郷土美術館

入場者数 715人 出品数 81点

イ 文化財の保存活用

・ 市内にある指定文化財の現況調査及び保存事業の実施

・ 文化財めぐりの実施

平成26年10月22日

尾道市

(浄土寺、文学のこみち、千光寺)

(4) 文化施設

ア 市民文化センター

施設の概要

所在地	繁本町8番65号 ☎ 33-2180	
敷地面積	18,337㎡	
	本館	別館
構造	鉄筋コンクリート造地下1階地上3階	鉄筋コンクリート造地下1階地上4階
建築面積	3,713㎡	2,166㎡
延床面積	5,064㎡	4,620㎡
ホール	大ホール (1,163席)	中ホール (固定486席、車いす席3席)
会議室	—	洋室10、和室2
教室	—	料理・茶華各1、視聴覚1
プラネタリウム	—	プラネタリウム室 (72席)
その他	老人社交室	展示室1、相談室、保育室
駐車場	駐車可能台数 170台	
建設事業費	3億5,000万円	5億4,400万円
完成	昭和37年11月3日	昭和49年8月9日
改修	工期 昭和61年12月18日～昭和62年4月25日 工事費 4億500万円 工事概要 せり舞台を新設(約100㎡) 舞台天井・側面に音響反射板の新設 客席の幅を拡大 前部客席に床暖房設備を設置 防音扉の設置	

使用料

次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額（10円未満は切り捨て）

大・中ホール、会議室等使用料金表

使用時間 室名		午前	午後	夜間	昼間	昼夜間	全日	備 考 (定員・広さ等)
		9時～ 12時	12時～ 17時	17時～ 22時	9時～ 17時	12時～ 22時	9時～ 22時	
大 ホ ー ル	平 日	円 6,000	円 10,000	円 14,000	円 16,000	円 24,000	円 30,000	固定席 1,181席
	土曜日の午後 日 祝	7,000	12,000	16,000	19,000	28,000	36,000	
中 ホ ー ル	平 日	3,000	5,000	7,000	8,000	12,000	15,000	固定席 486席 車いす席 3席
	土曜日の午後 日 祝	3,500	6,000	8,000	9,500	14,000	18,000	
教 室 ・ 会 議 室	視聴覚教室	1,000	1,400	2,100	2,300	3,000	3,500	100人 294m ²
	茶華道教室	800	1,200	1,800	2,000	2,600	3,000	40人 30畳
	料理教室	1,000	1,400	2,100	2,300	3,000	3,500	25人 100m ²
	展示室	500	800	1,200	1,300	1,700	2,000	50m ²
	大会議室	1,500	2,200	3,300	3,700	4,800	5,500	135人
	中会議室	700	1,000	1,500	1,700	2,200	2,500	30人 50m ² 3室 30人 68m ² 2室 60人 108m ² 1室 60人 120m ² 1室
	小会議室	400	600	900	1,000	1,300	1,500	15人 25m ² 2室
	小会議室 (和室)	400	600	900	1,000	1,300	1,500	10人 10畳 2室

冷暖房装置使用料金表

種別	区分 単位	大ホール	ロビー	中ホール	小ホール、教室 会議室
		冷房	1時間 円 2,500	円 1,000	円 1,500
暖房	1時間	1,000	500	700	” 3割

器具等使用料金表

区分 種別	器具等名	数量	1回の 使用料	摘要	
大ホール 特設舞台	所作舞台	1式	2,000円		
	ひな壇	1式	500	5枚 1組	
	迫り舞台	1式	2,000		
大ホール 照明器具	第1ボーダーライト	1式	500		
	第2ボーダーライト	1式	500		
	アッパーホリゾン ト ラ イ ト	1式	400		
	ロアーホリゾン ト ラ イ ト	1式	500		
	フットライト	花道	1式	100	
		舞台	1式	300	
	第1シーリング ス ポ ッ ト ラ イ ト	1式	700		
	第2シーリング ス ポ ッ ト ラ イ ト	1式	700		
	天井反射板ライト	1式	700		
	ステージスポット ラ イ ト	1式	500	4台 1組	
	センタースポット ラ イ ト	1台	500		
	スポット ラ イ ト	500 ワ ッ ト	1台	100	
		1キ ロ ワ ッ ト	1台	200	
		1.5キ ロ ワ ッ ト	1台	300	
	エフェクト プ ロ ジ ェ ク タ ー	1台	500		
	ミラーボール	1台	100		
	マルチストロボ	1式	200		
	テレビコンセント	1個	1,000		
	中ホール 照明器具	第1ボーダーライト	1式	400	
		第2ボーダーライト	1式	400	
アッパーホリゾン ト ラ イ ト		1式	400		
ロアーホリゾン ト ラ イ ト		1式	500		
フットライト		1式	300		
シーリング ス ポ ッ ト ラ イ ト		1式	800		
セ ン タ ー ス ポ ッ ト ラ イ ト		1台	500		
スポット ラ イ ト		500 ワ ッ ト	1台	100	
	1キ ロ ワ ッ ト	1台	200		
諸道具	演台設備	1式	300	椅子、 花台付	
	赤毛布	1枚	100		
	金屏風	1双	500		
	松羽目	1式	500		
	紗幕	1式	1,000		

区分 種別	器具等名	数量	1回の 使用料	摘要
諸道具	暗幕	1式	100円	
	ピ ア ノ (フルコンサート)	1台	6,000	調律料 含まず
	ピ ア ノ (セミコンサート)	1台	1,500	調律料 含まず
映写機 及び器具	16ミリ(35ミリ) 映写機 5巻以内	1台	2,000	1巻ます ごとに200
	スクリーン	1台	1,000	
	オーバーヘッド プロジェクター	1式	500	
	スライド映写機	1式	1,000	
	ビデオ放映装置	1式	300	
音響器具	拡声装置 (マイク3本付)	1式	1,500	
	演台マイク	1式	500	
	マイクロホーン	1本	200	
	レコードプレーヤー	1式	300	
	テープレコーダー	1台	300	テープ を除く
	ワイヤレスマイク	1本	200	
	コンパクト ディスクプレーヤー	1台	300	

1回の使用時間は、4時間以内とする。4時間を超えるときは、この表の定めた使用料金に、次の区分による額を加算する。

- (1) 1時間以内の場合 3割の額
- (2) 2時間以内の場合 5割の額

プラネタリウム観覧料

区 分	単 位	観 覧 料 金	
		個 人	団体(30名以上)
大 人	1人	60円	40円
高校生・高専生	1	30	15
中学生・小学生・幼児	1	10	5

利用状況

	階	室名	24年度		25年度		26年度	
			利用回数	利用人員	利用回数	利用人員	利用回数	利用人員
本館	1	大ホール	299回	79,842人	323回	75,685人	210回	53,575人
	1	大ホールロビー	1	450	1	500	0	0
別館	1	中ホール	320	47,898	271	38,399	285	40,051
	2	茶華道教室	125	3,735	55	1,244	83	1,824
	2	展示室	203	3,239	92	1,595	136	1,728
	2	料理教室	89	1,661	44	774	79	1,148
	3	プラネタリウム	59	832	57	731	55	610
	3	視聴覚教室	205	14,246	172	11,566	182	11,578
	3	小会議室(和室)	152	1,122	130	869	100	549
	3	小会議室	796	7,981	496	4,556	678	6,121
	1・3・4	中会議室	1,665	50,068	1,059	25,992	1,313	29,528
	4	大会議室	261	18,061	176	12,135	202	12,414

イ 文化振興会館

昭和28年10月、第8回国民体育大会が四国四県で実施されたのを記念して建てられ、記念会館として、40年間市民の方々に利用されてきたものを、市民の生活文化の向上、健康増進の研修の場として、全面改築し、新居浜市文化振興会館として設置した。

所在地 徳常町4番8号 ☎36-0800
 敷地面積 456㎡
 構造 鉄筋コンクリート造3階建
 延床面積 993㎡
 総事業費 2億2,800万円
 完成 平成5年3月
 建物 1階 第1研修室(44.46㎡)
 調理実習室(40.15㎡)
 大小浴室、男女更衣室
 トイレ、受付、展示ホール

2階 第2研修室(80.34㎡)
 第3研修室(81.40㎡)
 第4研修室(39.60㎡)
 講師控室、トイレ
 3階 第5研修室(153.92㎡)
 講師控室、トイレ

利用者数 平成22年度 22,451人
 平成23年度 22,462人
 平成24年度 20,411人
 平成25年度 21,662人
 平成26年度 22,781人
 使用料 次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額(10円未満は切り捨て)

会議室等使用料金表

(単位：円)

室名 \ 使用時間	9時～12時	12時～17時	17時～21時	9時～17時	12時～21時	9時～21時
第1会議室	400	500	700	1,000	1,200	1,700
第2会議室	700	1,000	1,300	1,800	2,300	3,100
第3会議室	700	1,000	1,300	1,800	2,300	3,100
第4会議室	300	400	600	800	1,000	1,400
第5会議室	1,300	1,900	2,500	3,400	4,400	5,900
調理実習室	400	500	700	1,000	1,200	1,700
展示ホール	300	400	600	800	1,000	1,400

注：他に、合宿料金、冷暖房費、ガス、電気等使用料が加算される。

(5) 別子山ふるさと館

設置趣旨 別子山地区の自然、歴史、風土、
芸術、民俗等に関する資料の収集展
示を行い、文化の向上を図る。

所在地 別子山甲345番地

☎64-2305

敷地面積 2,819㎡

構造 木造2階建

建設事業費 9,197万9千円

完成 平成2年7月31日

建物構造 資料館1棟 233㎡

管理棟1棟 127㎡

使用料 無料

(6) 文化財

ア 指定・登録文化財の状況 (27.4.1 現在)

区 分	国指定	県指定	市指定	国登録	合計
建 造 物	1	1	1	9	12
石 像			2		2
絵 画			3		3
彫 刻		1	10		11
工 芸	1	5	5		11
古 文 書			3		3
考 古 資 料		1	3		4
歴 史 資 料			4		4
無形民俗文化財			3		3
史 跡		1	23		24
名 勝		2	2		4
天 然 記 念 物	1	3	16		20
合 計	3	14	75	9	101

イ 国指定文化財

(27.4.1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
旧広瀬家住宅	建 造 物	上原二丁目10番52号	新 居 浜 市	平 15. 5. 30
剣 銘国永	工 芸		個 人 蔵	昭 31. 6. 28
一宮神社のクスノキ群	天然記念物	一宮町一丁目3番1号	一 宮 神 社	26. 6. 9

ウ 県指定文化財

(27.4.1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
経堂「大転輪蔵」	建 造 物	山根町8番1号	瑞 応 寺	昭 45. 3. 27
木造薬師如来坐像	彫 刻	高木町3番21号	河 内 寺	54. 9. 14
太刀 銘国継	工 芸		個 人 蔵	30. 11. 4
短刀 銘井上真改 延宝三年八月日	”		個 人 蔵	34. 3. 31
太刀 無銘	”		個 人 蔵	39. 3. 27
銅銭承和昌宝	”	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	40. 4. 2
金銅密教法具	”	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	40. 4. 2
金子山古墳出土品	考 古 資 料	西の土居町二丁目16番47号	慈 眼 寺	63. 4. 19
別子銅山口屋跡	史 跡	西町6番2号	新 居 浜 市	24. 9. 17
別子ライン	名 勝	立川山大永山	新 居 浜 市	30. 11. 4
広瀬公園	”	上原二丁目10番52号	新 居 浜 市	43. 3. 8
瑞応寺のイチョウ	天然記念物	山根町8番1号	瑞 応 寺	31. 11. 3
赤石山の高山植物	”	赤石山系	新居浜市、四国中央市	32. 12. 14
久貢山のソテツ	”	多喜浜六丁目4番55号	天 野 市 三	32. 12. 14

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
大元神社本殿	建 造 物	大島字宮山	大島八幡神社	昭52. 4. 7
宝篋印塔	石 造 美 術	郷四丁目	上郷自治会	52. 4. 7
狛 犬	"	東田三丁目1229番地	東台神社	52. 4. 7
金胎両界曼荼羅	絵 画	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
弘法大師御影像	"	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
絵馬「渡辺綱鬼女退治図」	"	新須賀町三丁目4番5号	堀江神社	60.10. 3
釈尊誕生仏	彫 刻	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
十二神将	"	高木町3番21号	河内寺	52. 4. 7
木造聖観世音菩薩立像	"	萩生2635番地	萩生寺	52. 4. 7
随 神	"	八雲町10番16号	宗像神社	52. 4. 7
牛王宝印	"	八雲町10番16号	宗像神社	52. 4. 7
蛙 股	"	八雲町10番16号	宗像神社	52. 4. 7
仏海上人作仏像	"	大島143番地	吉祥寺	53. 4. 6
木造聖観音菩薩坐像	"	別子山乙551番地7	圓通寺	平15.11. 4
木造大日如来坐像	"	別子山乙551番地7	圓通寺	15.11. 4
木造阿弥陀如来立像	"	別子山乙551番地7	圓通寺	15.11. 4
太刀 銘伝三条小鍛冶宗近作	工 芸	一宮町一丁目3番1号	一宮神社	昭40. 6. 3
仏舍利塔と舍利器	"	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
鉄鉢と二十五条麻袈裟	"	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
獅子王御太刀	"	八幡二丁目4番69号	八幡神社	52. 4. 7
孔雀文金銅磬	"	黒島二丁目7番70号	明正寺	52. 4. 7
秘法三十二箇卷	古 文 書	黒島二丁目7番70号	明正寺	40. 6. 3
白石家文書	"	北新町10番1号	新居浜市	平16. 8. 5
野田家文書	"	北新町10番1号	新居浜市	16. 8. 5
銭がめと古銭	考 古 資 料		個人蔵	昭52. 4. 7
古宮経塚出土「経筒」	"	一宮町一丁目5番1号	新居浜市	60.10. 3
正光寺山古墳群出土遺物	"	一宮町一丁目5番1号	新居浜市	平25. 3.13
西条藩領地鳥瞰図屏風	歴 史 資 料	一宮町一丁目5番1号	新居浜市	昭60.10. 3
石造地藏菩薩立像	"	別子山乙551番地7	圓通寺	平15.11. 4
圓通寺棟札	"	別子山乙551番地7	圓通寺	15.11. 4
瓜生野御堂棟札	"	別子山瓜生野	近藤利枝	15.11. 4
とうどおくり	無形民俗文化財	大島	大島自治会	昭53. 4. 6
じょうさ節	"	垣生	じょうさ節保存会	53. 4. 6
かぶと踊り	"	船木	かぶと踊り保存会	平16. 8. 5
五輪塔群	史 跡	西の土居町二丁目	西の土居自治会	昭40. 6. 3
大師泉縄文遺跡	"	萩生801番地	萩生東老人会	52. 4. 7
唐津塚	"	上原二丁目	新居浜市	52. 4. 7
小山古墳	"	垣生小山	大師堂	52. 4. 7
桧端住居跡	"	船木4638番地の2	安葉誠之助	52. 4. 7
河内寺の塔礎石	"	高木町3番21号	河内寺	52. 4. 7
深尾権太輔の墓	"	黒島二丁目7番70号	明正寺	52. 4. 7
星原市	"	星原町4番	矢野忠俊	52. 4. 7
久貢屋敷	"	多喜浜六丁目4番55号	天野市三	53. 4. 6
天野喜四郎の墓	"	多喜浜六丁目4番55号	天野市三	53. 4. 6

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	指定年月日
つづら淵	史 跡	若水町二丁目5番	つづら淵保存会	昭 53. 4. 6
金子城跡	〃	金子山	新 居 浜 市	53. 4. 6
岡崎城跡	〃	上郷郷山	新 居 浜 市	53. 4. 6
横山古墳群	〃	中萩町13番	新 居 浜 市	53. 4. 6
金子山古墳	〃	金子15番地	慈 眼 寺	58. 1. 6
三義民の碑	〃	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	60. 6. 6
村上平兵衛の墓	〃	又野二丁目5番 阿弥陀堂	又 野 自 治 会	60. 6. 6
高橋弥市左衛門の墓	〃	宇高町二丁目6番 観音堂	宇 高 自 治 会	60. 6. 6
高橋孫兵衛の墓	〃	宇高町二丁目1番52号 地藏堂	高 橋 寛 一	60. 6. 6
高橋孫兵衛屋敷跡地	〃	宇高町二丁目	高 橋 寛 一	60. 6. 6
金子備後守供養塔を中心とする墓	〃	西の土居町二丁目16番47号	慈 眼 寺	60.12. 5
広瀬家墓所	〃	山田町217番地の1	新 居 浜 市	平 16. 8. 5
正光寺山古墳群	〃	坂井町二丁目1419番	新 居 浜 市	25. 3.13
銚子の滝	名 勝	大生院大野山	新 居 浜 市	昭 53. 4. 6
樽の滝	〃	種子川山	新 居 浜 市	53. 4. 6
バクチノキの群生	天然記念物	大島字宮山	大島八幡神社	52. 4. 7
ミョウショウジザクラ	〃	黒島二丁目7番70号	明 正 寺	52. 4. 7
法泉寺のムクノキ	〃	垣生四丁目9番12号	法 泉 寺	52. 4. 7
大師泉のオオバタネツケバナ	〃	萩生801番地	萩生東老人会	52. 4. 7
ヤクシマツバキ	〃	大生院大野山谷	曾我部 伊与一	52. 4. 7
漣痕	〃	荷内町2番5号	真 鍋 麻 直	52. 4. 7
アッケシソウ	〃	阿島二丁目14番1号	岡 田 秋 稔	59. 7. 5
中央構造線小河谷断層	〃	萩生1833番地～2960番地の1	伊 達 逸 司	60. 1.10
宗像神社の参道と社叢	〃	八雲町10番13号	宗 像 神 社	60.11. 5
黒嶋神社のツバキ群生林	〃	黒島779番地の1	黒 嶋 神 社	60.12. 5
三島神社の社叢	〃	船木甲5371番地	三 島 神 社	60.12. 5
龍河神社の社叢	〃	立川町496番地1. 2. 3 497番地の3	龍 河 神 社	63. 5.12
山城八幡神社社叢	〃	別子山甲130番地	山城八幡神社	平 15.11. 4
オオモミジ	〃	別子山乙551番地13	圓 通 寺	15.11. 4
保土野溪谷甌穴群	〃	別子山保土野乙475番8地先ほか	国 土 交 通 省	15.11. 4
エドヒガンザクラ	〃	別子山乙83番1	別子校区連合自治会	25. 3.13

オ 登録有形文化財

(27.4.1 現在)

名 称	種 類	所 在 地	所有者・管理者	登録年月日
遠登志橋	土木構造物	立川町620番地1地先	新 居 浜 市	平 17.12.26
住友化学工業愛媛工場歴史資料館	建 築 物	惣開町5番1号	住友化学株式会社	13. 4.24
武徳殿	〃	徳常町4番6号	新 居 浜 市	16. 3. 2
旧別子鉱山鉄道端出場鉄橋(足谷川鉄橋)	〃	立川町682番地先他	住友金属鉱山(株)別子事業所	21. 8.25
旧別子鉱山鉄道端出場隧道	〃	立川町682番地	住友金属鉱山(株)別子事業所	21. 8.25
旧泉寿亭特別室棟	〃	立川町707番3	(株)マイントピア別子	21. 8.25
山根競技場観覧席	工 作 物	角野新田町三丁目2822番9	新 居 浜 市	21. 8.25
旧山根製錬所煙突	〃	角野新田町三丁目2822番1	新 居 浜 市	21. 8.25
旧端出場水力発電所	建 築 物	立川町594番地	新 居 浜 市	23. 1.26

(7) 文化振興基金

平成27年3月31日現在の積立金額

1,411,465,655円

7 郷土美術館

昭和26年に市内に散在している資料を集め、新居浜郷土科学館として出発。昭和33年1月31日文部省から博物館相当施設として指定を受け、名称を郷土館と改め、昭和39年7月14日、博物館法に基づく公立博物館として新居浜市郷土館を設置した。

その後、市民の郷土美術館の設立要望に応え、市役所旧庁舎を改造して、王子町から郷土館を移し、昭和56年3月24日開館、同年10月10日郷土美術館に改め、美術館活動もあわせて実施している。

(1) 施設の概要

所在地 一宮町一丁目5番1号

☎ 33-1030

敷地面積 1,472㎡

構造 鉄筋コンクリート造3階建

建物面積 延2,466㎡

所蔵資料 (27.4.1現在)

種別	自然科学	人文科学	その他の資料	計
点数	14,990	13,022	1,123	29,135

使用料

観覧料（郷土美術館が特別に展示する資料を観覧する者から徴収する使用料）

区分		料金
個人	大人	1人1回1,000円の範囲内で教育委員会が定める額
	大学生・高校生	
	中学生・小学生	
団体	20人以上1人につき	個人に係る観覧料の8割に相当する額

施設使用料（展示室を使用する者から徴収する使用料）

次の各表により算定した額に100分の105を乗じて得た額（10円未満は切り捨て）

使用時間 室名	9時30分～ 12時30分	12時30分～ 17時30分	9時30分～ 17時30分
第1展示室	1,000円	2,000円	3,000円
第2展示室	200	300	500
第3展示室	200	300	500
第4展示室	400	600	1,000
第5展示室	500	700	1,200
第6展示室	700	1,100	1,800
第7展示室	1,000	2,000	3,000

注：使用者が観覧料を徴収するときは、施設使用料に5割を加算する

(2) 展示事業等実績（平成26年度）

入場者数 4万27人

開館日数 303日

展覧会開催回数 28回

(3) 事業計画（平成27年度）

ア 主催展

- 第48回にいはま春の市民文化祭（美術の部）
4月10日（金）～4月22日（水）
- 第2回こどもふるさと写生大会作品展
6月6日（土）～6月14日（日）
- 第65回新居浜市美術展覧会（秋の市展）
10月中旬～11月上旬予定

イ 共催展

- 第14回楽楽画会展 5月20日（水）～5月24日（日）
- 第24回新居浜南高校美術・書道展
7月24日（金）～7月26日（日）
- 第64回秋季県展新居浜移動展
11月11日（水）～11月22日（日）
- 第29回高齢者趣味の作品展
11月26日（木）～11月28日（土）

ウ 常設展示

〔人文科学資料〕

歴史・民俗資料（むかしのくらし）

考古資料（石器、土器、瓦、郷土の出土品等）

木の玩具（日本のおもちゃ、郷土のおもちゃ）

太鼓台

〔自然科学資料〕

（岩石、鉱物、鳥瞰模型地図、

写真、パノラマ）

8 図 書 館

(1) 施設の概要

別子銅山記念図書館（本館）

所在地 北新町10番1号
 ☎32-1911

敷地面積 16,534㎡
 構造 鉄骨鉄筋コンクリート造陸屋根
 銅板葺 地下1階付2階建

建築面積 3,098.02㎡
 開設年月日 平成4年10月1日
 建設 別子銅山開坑300年を記念して、
 住友グループ21社から寄贈

図書閲覧室 正楕円形ドーム型880㎡、図書
 (一般11万4,391冊・児童3万6,463
 冊)、AV資料4,670点、雑誌209
 種類を配架

多目的ホール 正楕円形ドーム型380㎡、テ-
 ブル使用時約100人、椅子のみ
 使用時200人収容

その他 泉幸吉文庫、書庫、会議室、郷
 土資料室、レファレンスコー
 ナー、AVコーナー等

図書収蔵能力 23万冊
 駐輪場 54台収容
 駐車場 125台収容

角野分館

所在地 中筋町二丁目4番24号
 ☎41-6217

構造 鉄筋コンクリート造2階建
 (角野公民館併設)

建築面積 162.00㎡
 開設年月日 昭和54年7月1日

(2) 蔵書冊数

(27.3.31 現在)

分類 館別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	C	E	計
	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	紙芝居	絵本	
本館	14,562	11,632	24,647	29,747	20,485	17,688	6,753	26,163	3,955	101,975	1,719	29,294	288,620
角野分館	639	351	1,173	954	1,631	1,403	323	1,336	270	10,884	203	4,104	23,271
移動図書館	198	308	780	433	973	1,394	235	1,257	150	5,839	233	5,191	16,991
計	15,399	12,291	26,600	31,134	23,089	20,485	7,311	28,756	4,375	118,698	2,155	38,589	328,882

(27.3.31 現在)

A V 資 料	
CT (カセットテープ)	36
VT (ビデオテープ)	1,343
C D	2,106
D V D	1,185
計	4,670

(3) 貸出状況

図書館資料の貸し出しを受けることができる人は、市内に住所がある人、市内の事業所等に通勤する人、市内の学校に通学する人であり、資料の貸出数は1人につき図書10冊以内及び視聴覚資料2点以内とし、貸出期間は、14日以内である。

(平成26年度)

分類 館別	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	C	E						計	
	総記	哲学	歴史	社会	自然	工学	産業	芸術	語学	文学	紙芝居	絵本	その他	雑誌	CT	VT	CD		DVD
本館	6,330	11,836	25,494	23,081	33,403	51,840	10,997	48,746	4,185	190,372	5,179	92,662	394	33,164	0	1,738	12,109	17,686	569,216
角野分館	668	1,022	2,413	1,640	3,537	4,580	745	4,209	408	20,582	489	11,181	16	2,514	0	6	138	91	54,239
移動図書館	682	994	1,978	676	2,482	3,737	647	6,281	422	16,458	329	10,554	0	255	0	5	148	8	45,656
計	7,680	13,852	29,885	25,397	39,422	60,157	12,389	59,236	5,015	227,412	5,997	114,397	410	35,933	0	1,749	12,395	17,785	669,111

(4) 心身障がい者に対する図書貸出

市内に在住する心身障がい者（身体障がい者の場合は1級～3級の手帳を有する者）が、貸出希望を申し出た場合、郵送による貸出及び連絡車による配送を実施している。（郵送に要する経費は図書館が負担している。）

貸出冊数は5冊以内で、貸出期間は30日以内である。

(5) 団体貸出

団体(学校等)に、貸出冊数100冊以内、貸出期間4週間以内で図書の貸出をしている。

(6) 主な事業（平成26年度）

ア 学校図書館支援推進事業

学校図書館を子どもたちが自主的に利用し、調べ物や読書が活発に行えるよう支援することを目的に、平成20年度から学校図書館支援員4人を市立図書館に配置し、学校図書館に派遣。平成25年度2名増員。小学校を中心に継続的な環境整備、読書指導、計画的な学校図書館活用指導、教職員と連携しながら授業や調べ学習における資料や情報の提供に取り組んでいる。

イ 移動図書館運営事業

平成21年4月より小学校6校へ昼休みに移動図書館「青い鳥号」を乗り入れ開始。それにともない、ステーション停車時間の見直しを行い、6ステーション追加。（うち小学校13校、中学校2校）市内33ステーションを運行。

ウ 地域活性化支援・行政支援

ビジネスや住民活動に関する新刊図書、関係機関からの配布資料等を集めた「地域活性化支援(ビジネス支援)コーナー」を設置。図書館入り口に行政の事業等をパネル展示し、関連資料の展示や図書リストの配布等により市民に情報提供。

「宮西校区連合自治会 口屋・宮西小学校ジオラマ展示」「愛媛県東予地方局地域政策課 別子銅山展」等 計5回

エ 健康支援

市民の多様な健康情報ニーズに応じていくため、医療機関と連携して健康講座を行い、所蔵する健

康関係の図書リストを作成し、配布。(健康支援図書コーナーを設置)

「認知症予防～リハレクしましょう～」

平成26年10月23日(木)

「家庭でできる感染予防」

平成27年2月5日(木)

オ 雑誌スポンサーの募集開始

平成24年7月1日より開始

「雑誌スポンサー制度」とは、雑誌そのものを寄贈してもらうのではなく、雑誌の購入代金を負担してもらう制度。雑誌は、図書館の中でも回転率の高い資料で、多くの人が毎日利用しているため、高い広告価値がある。(雑誌209タイトル中17タイトル)

カ 「移動動物園」

こども読書週間イベント。子どもたちに小動物に触れ合い、キーパーさんから動物飼育の体験などを聞くことにより、生命の大切さを感じてもらった。

平成26年5月11日(日) 10:00～12:00

図書館南側芝生庭園

参加者(子ども260名 大人240名)

キ 「人形げきや おたこ組 人形劇」

人形げきや おたこ組による人形劇『オオカミと3D?のコブタ』ほか2編

講師 立田卓也 立田裕美

平成26年7月5日(土) 10:30～11:30

参加者(子ども74名 大人68名)

ク 夏休みは図書館へいこう!

第1弾「夏休み子ども探検隊&身近な素材でつくって遊ぼう!」平成26年7月25日(金)

図書館子ども探検隊 10:00～10:30

つくって遊ぼう! 10:30～12:00

書庫等の見学、本が書架にならぶまでのしくみや便利な図書館サービスの紹介。

身近な素材で創作するリサイクルアート

講師 総合文化施設準備室 野間綾子

参加者(子ども22名 保護者22名)

第2弾「夏休み体験!子ども一日図書館員」

平成26年7月25日(金)

体験一日図書館員 13:00～16:30

図書館見学・ビブリオバトル（書評合戦）

参加者（小学生4～6年生11名 保護者3名）

第3弾「夏の夜のちょっと怖いお話会と夜の図書館探検」平成26年8月8日（金）

子どもと大人対象の怖いお話と語り。

19:15～20:00

参加者（子ども70名 大人55名）

夜の図書館探検 20:00～20:30

参加者（子ども24名）

ケ 本とあそぼう 全国訪問おはなし隊

キャラバンカー見学とおはなし会。

平成26年9月6日（土） 14:30～15:35

参加者（子ども43名 大人30名）

コ 図書館まつり

平成26年11月23日（日） 9:00～17:00

日頃、図書館を支えてくださっている市民の皆さんに感謝し、楽しんでもらうため開催

「ブックリサイクル」 9:00～

図書館での役割を終えた本や雑誌、市民からの寄贈本（重複及び図書館において資料的価値のないもの）約11,190冊を市民に無償で提供した。

参加者（来場者約415人）

「図書館見学」 13:00～13:30

図書館の概要、書庫、郷土資料室等施設の見学。

参加者（大人9名）

講演会「世界遺産・シルクロードを平和の道に」

14:00～15:30

新居浜市出身の文化ジャーナリスト白鳥正夫先生を講師に招き講演会を開催。自身のシルクロードの旅の体験談や写真をユーモアを交え話していただいた。

参加者（大人60名）

サ 別子銅山に関する本の解説講座

「別子銅山を読む」

別子銅山に関する本の解説講座「別子銅山を読む」を継続開催。

第1回「白石誉二郎翁傳」

平成26年4月19日（土） 参加者（大人49名）

特別講義(1)「別子銅山の歴史と産業遺産」

平成26年5月24日（土） 参加者（大人73名）

第2回「住友共電のあゆみー特に水力発電について」

平成26年7月19日（土） 参加者（大人52名）

第3回「小倉正恒」

平成26年9月27日（土） 参加者（大人45名）

第4回「源泉」

平成26年11月8日（土） 参加者（大人45名）

第5回「古田俊之助氏追懐録」と特別講義(2)「新居浜市史」

平成27年2月21日（土） 参加者（大人45名）

別子銅山から紐解く地域交流巡回パネル展in新居浜・記念講演及び特別講義(3)「日本近代化の起点」
「別子銅山史の留意点」

平成27年3月15日（日） 参加者（大人45名）

シ ブックスタート事業

毎月第1・2火曜日、保健センターの5か月児健康相談（対象987名）において司書が説明の言葉を添えて絵本等の入ったブックスタートパックを手渡す。976名 配布率98.9%

ス 出前講座

学校、高齢者福祉施設等へ出かけ「お話会」を行い、本やお話に親しんでもらい、図書館のPRも行った。

学校図書館支援員

協力（ボランティア） 回転木馬

計21回

参加者（子ども780名 大人186名）

セ おはなし会

本館

毎月第1木曜日（乳幼児0～3歳対象）

毎月第2・4水曜日（幼児対象）

毎月第3土曜日（小学生対象）

角野分館

毎月第1・3水曜日（幼児対象）

「紙芝居、絵本の読みきかせ、パネルシアター、エプロンシアター、ストーリーテリング」等を行った。

協力（ボランティア）

回転木馬、民話の里すみの

参加者（子ども735名 大人378名）

9 広瀬歴史記念館

広瀬歴史記念館は、日本の近代産業を育成した広瀬宰平の足跡を通して、新居浜の生い立ちと日本の近代化の歩みを後世に伝え、また、文化遺産の保存・継承と市民文化の向上を図るため、生涯学習の拠点施設として平成9年4月29日にオープンした。

施設の概要

記念館は、展示館と旧広瀬邸の二つの施設から構成され、この二つの施設を合わせた名称が新居浜市広瀬歴史記念館である。展示館新築工事は、着工平成8年3月22日から平成9年3月30日まで、総工事費は10億8,008万円であり、その内2億円は展示工事である。

施設の構造は、鉄筋コンクリート造り地上1階、地下1階、延べ床面積1,051.94平方メートルとなっている。1階は、展示室、記念室、収蔵庫、事務室、地下1階は、機械室である。

旧広瀬邸は、母屋が明治10年建築、明治20年に現在地に移築、新座敷と庭園が明治22年に造られたものである。これらの建物は、伝統的な日本家屋であるが、その中にも西洋文化が取り入れられており、それらが見事に調和している。

平成15年5月30日、国の重要文化財に指定された。

所在地 上原二丁目10番42号

☎ 40-6333

敷地面積 36,515.22㎡
 内 展示館 4,688.03㎡
 旧広瀬邸 10,476.00㎡
 その他亀池 21,351.19㎡
 建物面積 展示館 1,051.94㎡
 旧広瀬邸 1,459.03㎡

展示館の内容 宰平翁の偉業を時代を追って紹介し、古文書や当時の財界人からの書状など歴史資料約250点を展示

観覧料 一般 520円(420円)
 障害者及びその介護者 260円
 市内在住の65歳以上の者
 中学生以下 無料
 ※()内は団体20名以上の場合

開館時間 9:30~17:30
 (受付時間は17:00まで)

休館日 月曜日
 国民の祝日の翌日(日曜日を除く)と12月29日から1月3日まで

使用料 (単位:円)

	記念室	和室A	和室B
9:30~12:00	2,100	2,100	1,260
13:00~17:00	3,150	3,150	2,100
9:30~17:00	5,250	5,250	3,360

※和室A 25畳

和室B 16畳

※冷暖房の使用時は、それぞれ5割、3割を使用料金に加算する。

※使用時間延長の場合、1時間につき使用料の2割を加算する。

平成26年度観覧者数 7,471人

10 発 達 支 援

(1) 重点目標

障がいや発達課題のある子どもが、地域でともに育ち、学び、働き、暮らす支援の体制づくりに取り組み、障がいの有無にかかわらず、誰もが相互に人格と個性を尊重し支えあう共生社会の構築を目指す。

(2) こども発達支援センターの運営

こども発達支援センターでは、地域における発達支援の中核的機関として、総合相談、発達検査、早期療育などのほか、関連する施設や機関へのコーディネートや連携を行う中で、地域全体で支援を行う発達支援システムの構築を目指している。

(3) 学校特別支援教育支援員の配置

生活や学習上の困難を有する児童生徒に対し、生活上の介助や学習指導上の支援を行うために学校特別支援教育支援員を配置し、特別な教育的支援を必要としている児童生徒の学習効果を高め、学校生活へのよりよい適応を図っている。

支援員配置状況

区分		年度	24	25	26
特別支援学級等 指 導 員	小学校		3	4	5
	中学校		0	0	0
生 活 介 助 員	幼稚園		4	5	4
	小学校		46	60	69
	中学校		22	24	20
学 校 支 援 員	小学校		9	14	14

(4) 校区外自閉症・情緒障がい学級通学費補助

通学区域外の自閉症・情緒障がい学級に通学する児童生徒に通学費の一部を補助し、特別支援教育の推進と保護者の負担軽減を図っている。

補助金交付実績

区分		年度	24	25	26
対 象 者 (人)	小学校		5	5	7
	中学校		1	3	3
補 助 金 (千円)	小学校		433	193	298
	中学校		70	83	75

(5) 就学相談

心身の障がい並びに発達課題の種類及び程度に応じ必要な調査等を実施し、教育上特別な配慮を要する幼児、児童及び生徒の適正な就学指導を行っている。

教育支援委員会の開催状況

区分	年度	24	25	26
開 催 回 数		5	5	6
判 断 依 頼 数		210	233	267

(6) 総合相談

子どもの育児や発達、就学について保護者が抱えている不安や疑問について相談をし、発達支援の充実と関係機関との連携強化を図っている。

総合相談の状況 (平成26年度)

年齢別	乳 幼 児	小 学 生	中 学 生	高 校 生	そ の 他	合 計
相談件数	288	528	331	52	13	1,212

(7) 巡回相談

保育所、幼稚園、小学校等へ心理専門員等による巡回相談を実施し、障がいや発達課題のある子どもの早期発見、発見後の具体的支援方策の協議、現場の教職員のスキルアップを図っている。

巡回相談の状況 (平成26年度)

個所別	保 育 所	幼 稚 園	小 学 校	中 学 校	高 等 学 校 等	合 計
相談件数	128	38	327	59	2	554



11 総合文化施設 (あかがねミュージアム)

総合文化施設は、新居浜の歴史、文化及び芸術を通して、市民が集い、出会い、交流する場を提供することで、文化の継承、発展、創造と次世代のひとづくりを目指して、平成25年3月建設に着工し、平成27年6月末竣工、平成27年7月18日にオープンした。

この施設は、太鼓台ミュージアム、にいはまギャラリー、ホール、スタジオ、アート工房の総合文化施設と、美術を通して出会いと交流を育む場である展示室、市民ギャラリーを有する美術館で構成されている。

平成26年7月に市内の小・中・高・高等専門学校の児童・生徒に愛称を募集し、平成27年2月4,631通の応募の中から「あかがねミュージアム」に決定した。

施設の管理運営は、指定管理者制度を導入し、新居浜市美術館及び新居浜市総合文化施設運営グループが行っている。

施設の概要

所在地	坂井町二丁目8番1号
電話	65-3580
敷地面積	11,571.86㎡
構造	鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階地上3階
延床面積	8,841.75㎡
建物構造	B1F ホール(250席、ロールバック式)、楽屋、スタジオ1、地下駐車場 GL ロビー、カフェ 1F メインエントランス、太鼓台ミュージアム、総合案内、にいはまギャラリー、アート工房、シアター、スタジオ2 2F 美術館(展示室1、展示室2、市民ギャラリー) 3F 機械室
開館時間	9:30~17:00 太鼓台ミュージアム、シアター、にいはまギャラリー、美術館 9:30~21:00 アート工房、スタジオ2 9:30~22:00 ホール、楽屋、スタジオ1 9:00~22:30 駐車場
休館日	月曜日(月曜日が国民の祝日に当たるときは、翌日) 12月29日から翌年1月3日まで